

2016年(平成28年) 8月18日

逗子市議会議員 菊池俊一様

日本共産党逗子議会議員団

団 長 岩室 年治

橋爪 明子

維新クラブ

会 長 高谷 清彦

加藤 秀子

横山美奈議員に対する強制わいせつ事件について

8月4日、テレビ朝日「スーパーJチャンネル 追跡! 真実の行方~独占 強制わいせつで告訴・女性議員が初証言」が放映され、多くの市民が視聴したこともあって、同僚議員である私たちにも、内容の確認と問い合わせ、苦情、市議会の対応方などのご意見が寄せられています。

4月の新聞報道では、被害を受けた横山美奈議員は、その時点では匿名でありましたし、本人から説明したいという意向はありませんでした。しかし、今回のマスコミ対応では、自らの氏名を公表し、直接取材を受けておられました。

報道された内容と本人の発言では、今年3月の予算議会最終日、4月に改選を迎える役職人事をめぐり、横山美奈議員を含め7名の議員が小料理店で集まり、打ち上げをかねて飲み会が行われました。その際に、ある特定の議員が横山美奈議員に対し、身体やお尻を触り、無理やりにキスをする行為に及んだというわいせつ行為があったとされています。そして刑事告訴も行なったということです。

もしも横山美奈議員の告発が事実であれば、市民の代表である市議会議員として許される行為ではなく、市議会の品位を汚し、市民からの信頼を失墜させる行為でもあります。

また、逗子市議会の役職を得たい女性議員は、ある程度の男性議員からのわいせつ行為は許容しなければならぬようにも受け止められ、市民から誤解を招くものです。

過去にも、逗子市議会では、男性議員による女性議員に対する恫喝事件、委員会視察における暴力事件も発生し、信頼は失ってきたことを考えると速やかに事件の解決を図る必要性が生じているものと考えます。

逗子市議会として、市民からの信頼回復を取り組むには、議会運営委員会において、まず被害者である横山美奈議員から事実関係の説明をしていただき、逗子市議会としての対応について協議が求められています。

議長におかれましては、速やかに議会運営委員会で、横山美奈議員からの説明の場を設け、その対応を協議されますようお願い致します。